柏崎市洪水ハザードマップ

その5（鵜川上流）

かしわざき

（水害危険区域図）

洪水ハザードマップについて

柏崎市では、過去の台風や豪雨などで大きな被害を受けてきました。平成17年には、大規模な水害が発生しましたが、今後も予想を超える大雨が降ることも考えられます。

この地図は、現在の鵜川の整備状況で、100年に１回程度の大雨（1日間雨量約200㎜）によって鵜川がはん濫した場合を想定した浸水範囲と浸水の深さを示しています。

水害が起こったら、ご家庭周辺がどのような状況になるかを確認し、日頃から避難所の位置を確認しておくとともに、避難経路の安全性に気をつけ、大雨時の行動を考えるための資料としてください。特に、乳幼児や高齢者などは、避難に時間がかかるので、早めの避難が安心です。

なお、ここでの浸水状況は、鵜川がはん濫した場合であり、その他の河川や水路、下水道などからの浸水では、他の場所で浸水したり浸水箇所が拡大したりすることがありますので、ご注意ください。

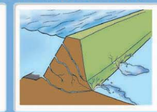
平成19年4月　柏崎市 市民生活部 防災・原子力課
TEL：0257-23-5111（市役所代表）
E-mail bousai@city.kashiwazaki.niigata.jp

● 水害発生の仕組み

水害は、川の堤防が壊れたり、堤防から水が溢れて発生するはん濫（外水はん濫）と、川に排水されるべき水が川に流れずに溢れてしまうはん濫（内水はん濫）などによって発生します。水害の発生する仕組みを理解して、身の回りの地域では、どのようなタイプの水害が発生しやすいか確認しておきましょう。

堤防が壊れて発生するはん濫（外水はん濫）

大雨や雪解けによって、川の水の量が増え、水かさが上がり始めます。



堤防いっぱいまで水が増えると、土でできた堤防に水の圧力がかかり始めます。

水が増え、水の力に堤防が耐えられなくなると、堤防の一部が崩れ始めます。

堤防が崩れた場所をとおって、勢いよく水が流れ出し、家に襲いかかります。

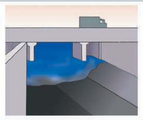
堤防から流れ出した水は、場所によっては家を破壊・流出したり、車を浮き上がらせたりしながら広がります。水が浸水して来ると、すぐ水かさが高くなり、歩行が困難になります。

排水できないために発生するはん濫（内水はん濫）

街などに降った雨は、下水道などをとおって川に排水されます。

大雨が降ると川の水位があがり、排水されずに下水道などが溢れてしまいます。

その他の理由で発生するはん濫・浸水



その他にも大雨が降ったとき、道路の側溝がつまったり、道路の低くなっているところに水がたまったりしてもはん濫はおこります。

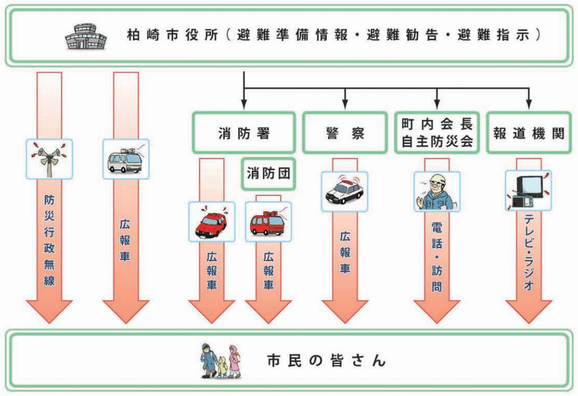
● 避難の準備

● 避難勧告･指示

柏崎市では、災害から住民の安全を守るため、避難の勧告や指示を行うことがあります。避難勧告や避難指示が出されたら、速やかに最寄りの避難所に避難してください。特に、家族の中に乳幼児や高齢者など避難に時間がかかる方がいるときは、積極的な情報収集を行い、早めの避難を心がけましょう。

情報の種類	発令時の状況	住民の皆さんに求める行動
避難準備情報（要援護者避難情報）	・災害時要援護者等、特に、避難行動に時間を要する者が、避難行動を開始しなければならない段階であり、人的被害の発生する可能性が高まった状況	・災害時要援護者等、特に避難行動に時間を要する者は、計画された避難所への避難行動を開始 ・上記以外の者は、家族等との連絡、非常持出品の用意等、避難準備を開始 ・自主防災会、町内会、消防団等は、災害時要援護者の避難支援活動を開始
避難勧告	・通常の避難行動ができる者が、避難行動を開始しなければならない段階であり、人的被害の発生する可能性が明らかに高まった状況	・通常の避難行動ができる者は、計画された避難所への避難行動を開始
避難指示	・前兆現象の発生や、現在の切迫した状況から、人的被害の発生する危険性が非常に高いと判断された状況 ・堤防の隣接地等地域の特性などから人的被害の発生する危険性が非常に高いと判断された状況 ・人的被害の発生した状況	・避難勧告等の発令後で避難中の住民は、確実な避難行動を直ちに開始 ・未だ避難していない対象住民は、直ちに避難行動に移るとともに、そのいとまがない場合は、生命を守る最低限の行動

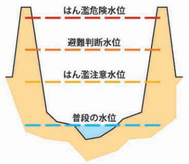
● 避難情報の伝達経路



● 情報を集めましょう

● 水位情報

河川の水位が避難の目安となります。鵜川の水位は、前川原橋（宮之窪水位観測所）で観測されています。前川原橋の水位の状況に応じて、下図のような基準値が定められています。



基準値		内容
はん濫危険水位（危険水位）	10.95m	洪水により河川がはん濫し、相当数の被害が発生する危険性が非常に高いことを示す水位です。人的被害の危険性もあるため、流域の皆さんへ避難指示を発令する基準となります。
避難判断水位（特別警戒水位）	10.10m	洪水による災害発生のおそれがあり、避難が必要になるおそれが出てきたことを流域の皆さんへお知らせする基準となる水位です。避難判断水位（特別警戒水位）を超え、なお水位が上昇し、洪水による災害が発生するおそれがあるときは、避難勧告を発令します。
はん濫注意水位（警戒水位）	9.80m	水防活動を行う基準となる水位です。水防関係機関は出動し、河川の巡視などの水防活動を行います。今後なお水位が上昇し、洪水による災害が発生するおそれがあるときは、災害時要援護者の皆さんから避難行動を開始していただくために、避難準備情報を発令します。

※増水している河川には、安易に近づかないようにしましょう。

● 気象情報

種類	地域	1時間雨量	3時間雨量	24時間雨量
大雨洪水警報	平地	40㎜以上（降り始めからの総雨量：100㎜以上）	70㎜以上	140㎜以上
	山沿い	50㎜以上（降り始めからの総雨量：100㎜以上）	80㎜以上	140㎜以上
大雨洪水注意報	平地	20㎜以上	35㎜以上	70㎜以上
	山沿い	30㎜以上	45㎜以上	80㎜以上
記録的短時間大雨情報	平地	70㎜以上	台風や前線などの活動で、局地的に激しい雨を観測したときに、警戒を呼びかけるために発表します。	
	山沿い	80㎜以上		

● 参考　雨の降り方（1時間雨量）

雨の強さと降り方に注意して、早めの避難を心がけましょう。

雨の降り方の程度（1時間雨量）

やや強い雨（1時間に10～20㎜）		地面一面に水たまりができ、話し声が聞き取りにくくなります。長雨になりそうなら警戒してください。
強い雨（1時間に20～30㎜）		傘をさしていても濡れてしまうほどの土砂降りの雨で、土砂災害の心配がありますので、今後の様子に注意し、長引きそうなら避難の心構えをしてください。
激しい雨（1時間に30～50㎜）		バケツをひっくり返したような激しい雨で、土砂災害の危険が一層高まりますので、避難の準備をしてください。
非常に激しい雨（1時間に50～80㎜）		滝のように降り、あたりが水しぶきで白っぽくなり、車の運転は危険です。避難勧告や避難指示が出る場合がありますので、ラジオやテレビからの情報に注意してください。
猛烈な雨（1時間に80㎜以上）		息苦しくなるような圧迫感がある雨で、恐怖を感じます。災害の発生に対して厳重に警戒してください。

● いざ避難

● 避難時の心得　いざという時、あわてず、冷静に

日頃から避難に必要なものを整理しておくとともに、避難の手順について家庭で打合せをしておくと、いざというとき、あわてずに避難ができます。また、そのときはラジオや広報車などからの情報を確認し、ひとりで行動せず、必ずグループで行動しましょう。

①正確な情報収集と早めの行動を

ラジオ、テレビで最新の気象情報、災害情報、避難情報に注意しましょう。
雨の降り方、浸水の状況、屋外の状況に注意し、危険を感じたら早めに行動することを心がけましょう。

②避難の呼びかけに注意を

危険が迫ったときには、市役所や警察署などから避難の呼びかけをすることがあります。呼びかけがあった場合には、速やかに避難しましょう。

③避難する前に、もう一度火元の確認を

ガスの元栓、電気のブレーカーも忘れずにとめましょう。

④お年寄りなどの避難に協力を

お年寄りや子供、病人、障害のある人は、早めの避難が必要です。近所のお年寄りなどの避難に協力しましょう。

⑤動きやすい格好、２人以上での避難

避難するときは、動きやすい格好で、２人以上での行動を心がけましょう。

⑥堤防に車を放置しない

水防活動の妨げになりますので、自動車を堤防や道路に放置しないようにしましょう。

● 避難時の危険箇所

避難所までの路上には、いろいろな危険が潜んでいます。地図には代表的な危険箇所を示していますが、日頃から身の回りの様子を観察し、大雨のときに危険な場所を確認しておきましょう。

◆水路の周辺

水路には、ガードレール等の柵がありません。浸水時には、水路の場所が判らなくなり、流される危険があります。

◆堤防の背後や盛土に囲まれた地域

堤防の背後や大規模な道路盛土などに囲まれた地域は、排水能力が低く水が溜まりやすくなっています。洪水時には周辺よりも浸水深が深くなる危険があります。

◆浸水実績箇所

周辺よりも低くなっているところは、水が溜まりやすいので注意が必要です。

◆地下歩道や地下街

地下歩道や地下街は、浸水時には周辺から水が流れ込み危険です。

◆土砂災害危険箇所

土石流危険渓流や「がけ」は、大雨が降ると土石流が発生したり、崩れるおそれがあります。大雨時には近づかないようにしましょう。また、土石流危険渓流や「がけ」の近くに住宅がある場合には、早めの避難を心がけましょう。

● 日頃の備え

● 非常時持出品一覧

非常時に持ち出すものをあらかじめ準備しておきましょう。

- 懐中電灯と電池
- 携帯ラジオと電池
- 飲料水
- 医療品
- 現金・貴重品
- 衣服・下着類
- 洪水ハザードマップ
- ろうそく（マッチ、ライター）
- 食料品（皿、フォークなど）
-
-
-
-

持出品は定期的に中身を確認しましょう。保存期限などにも注意しましょう。

チェック年月日：　年　月　日
年　月　日
年　月　日
年　月　日
年　月　日

● 災害時の連絡手段

災害発生時に家族全員が一緒にいるとは限りません。事前に避難所や連絡方法などを話し合っておきましょう。なお、災害発生時は、電話がつながりにくくなりますので、「災害時伝言ダイヤル」などを利用するようにしましょう。

● 災害用伝言ダイヤル（固定電話）

● 忘れてイナイ（171）？　災害伝言171と覚えて下さい ●

伝言を登録する

171にダイヤル（ガイダンスが流れます）→ 録音の場合【１】（ガイダンスが流れます）→ （市外局番）00-0000（自宅の電話番号をダイヤル）

伝言を聞く

171にダイヤル（ガイダンスが流れます）→ 再生の場合【２】（ガイダンスが流れます）→ （市外局番）00-0000（被災地の電話番号をダイヤル）

※ 平常時には利用できません

● 災害用伝言板（NTTドコモグループ、au、ツーカー、ソフトバンク）

伝言を登録・送信する

ﾄｯﾌﾟﾒﾆｭｰ → 「災害用伝言板」を選択 → 「登録」を選択 → 状況、コメントを入力

※ 事前に登録したアドレスに、送信することもできます。

伝言を確認する

ﾄｯﾌﾟﾒﾆｭｰ → 「災害用伝言板」を選択 → 「確認」を選択（相手の携帯電話番号をダイヤルし「検索」をする）

※ 詳細は、お手持ちの電話会社の案内をご確認ください。

※ 平常時には利用できません

● 過去の災害

● 平成17年6月28日豪雨について

平成17年６月28日未明より断続的に降り続いた豪雨（以下6.28豪雨といいます）は、柏崎市周辺を流れる主要な河川である鵜川、鯖石川、谷根川で越水、破堤などの被害が相次ぎ、特に鵜川支川の横山川周辺の宮場町などで大きな浸水被害が発生しました。

6月28日豪雨による住居被害

種別	被害
床上浸水	167 棟
床下浸水	367 棟

鯖石川（天保橋）の状況

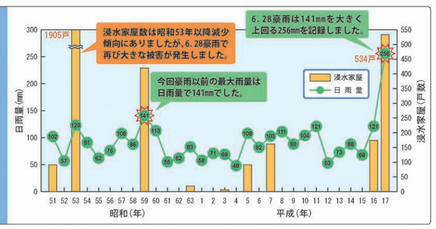
横山川の浸水状況

横山川の浸水状況

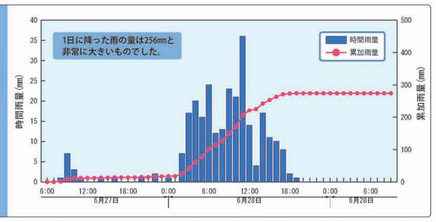
● これまでの浸水被害について

下図は昭和51年以降の浸水家屋数（橙色の棒グラフ）と柏崎観測所の日最大雨量（緑色の折れ線グラフ）を示したものです。平成16年まで柏崎観測所の日最大雨量は、昭和59年の141㎜が最大でしたが、6.28豪雨はこれの約1.8倍、256㎜でした。また、平成16年、17年と大きな雨が連続して発生しています。

最大日雨量と浸水家屋（気象庁柏崎観測所）



6.28豪雨の雨量（気象庁柏崎観測所）



● 情報収集先

避難に関する情報	
柏崎市	広報車、防災行政無線
気象情報・水位の情報	
新潟県河川防災情報システム	http://doboku-bousai.pref.niigata.jp/kasen/
気象庁新潟地方気象台	http://www.tokyo-jma.go.jp/home/niigata/
生活に関わる情報	
新潟県道路情報システム	http://doboku-bousai.pref.niigata.jp/douro/
ＪＲ東日本（列車運行情報）	http://www.jreast.co.jp/train_info/service.html
越後交通（株）（バス運行情報）	http://www.echigo-kotsu.co.jp/
天気予報、被害状況など	
ラジオ：ＮＨＫ第１（981KHz）、ＢＳラジオ（1062KHz）、ＦＭピッカラ（76.3MHz）	
テレビ：ＮＨＫ総合（8ch）、ＢＳＮ（5ch）、ＮＳＴ（35ch）、ＴｅＮＹ（29ch）、ＵＸ（21ch）	

● 防災関係機関一覧

分類	名称	電話番号（市外局番 0257）
市役所	柏崎市役所	23-5111
消防	柏崎市消防本部	24-1500
警察	柏崎警察署	21-0110
	新道駐在所	23-2865

分類	名称	電話番号（市外局番 0257）
防災関係機関	長岡国道事務所柏崎維持出張所	22-2159
	新潟県柏崎地域振興局地域整備部	21-6302
	東北電力柏崎営業所	22-4101
	柏崎市ガス水道局業務課	22-4111
	NTT東日本　新潟支店	113（故障）
	柏崎郵便局　総務課	22-2400
	新潟県柏崎地域振興局健康福祉部	22-4165
病院	国立病院機構新潟病院	22-2126
	厚生連刈羽郡総合病院	23-2165
	柏崎病院	23-5293
	柏崎中央病院	23-6254
	柏崎厚生病院	22-0111
	関病院	23-4314

● 我が家の防災メモ

我が家の避難所	
家族の集合場所	
災害時の緊急連絡先	

家族の名前	生年月日	血液型	会社・学校の電話番号	その他